



スマホで写真報告書が簡単に作れるアプリ「123Reporter」の導入事例や便利な機能をご紹介します。今回はエンタープライズ版をお使いのダイケイスクエア様から生の声をお届け！

「123Reporter」導入事例

# 昼夜の業務にフル活用！ 現場がどんなに増えても 報告業務はとてもスムーズ

ダイケイスクエア様

お客様係&主任 石川志郎さん

協力企業紹介●快適な空間と環境を考えたメンテナンス&クリーニングサービス会社です。清掃業全般のほか、建物一般のメンテナンスやリフォーム外壁補修工事など、多様な施工にも対応。環境を考えた施工方法・洗浄剤を使用し、20年前から環境保護に取り組んでいます。今までも、これからも、キレイな世界の実現に取り組みます。

Q 御社での報告書作成業務について教えてください

弊社の清掃業務は、昼と夜のチームに分かれて行っています。昼のチームは基本的にマンションやオフィスの日常清掃、巡回清掃、定期清掃を行っており、現場責任者が単独で巡回しています。夜のチームは2～3名体制で、主に飲食店の店舗清掃を深夜に行っています。

写真付きの報告書は、主にマンションの巡回清掃や定期清掃、深夜の店舗清掃で作成しています。以前は、現場にデジカメを持ち込んで写真を撮影し、帰社後に会社のパソコンに写真のデータを移し、事務スタッフがその写真をエクセルデータに貼り付けて仕上げていました。



インタビューに応じる石川さん。業務効率化への強い熱意で、本アプリの導入を推進していただきました

報告書を作る物件はマンションの巡回清掃だと1日に3～4件、店舗清掃だと1日に2～3件程度です。定期清掃は物件にもよりますが、毎月提出する場合があります。

オフィスの日常清掃は普段は日報を提出する程度ですが、設備の故障などの報告で写真付きの報告書を提出することがあります。

Q 従来の報告書作成業務はどの程度大変でしたか？

デジカメで撮った写真のデータを会社のパソコンに移す作業が大変でした。現場作業後に会社まで戻する必要がありますし、デジカメ内の写真をパソコンに移してフォルダに整理するのも面倒でした。

事務スタッフも膨大な写真のなかから使うものを選ぶ必要があるもので、とても手間がかかります。

そんな状況でしたので、現場が増えていくにつれ、事務スタッフの作業がパンクしてしまったんです。月末に提出する報告書があるのですが、その作業が間に合わず、私を含む現場責任者が残業でフォローしていましたが、それでも提出が遅くなってしまっていました。

そこで何か改善する方法ないかと

模索していたところ、一昨年の「ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO」で「123Reporter」と出会いました。このアプリなら事務スタッフや私たちの作業負担を減らせるのではないかと思い、後日改めてくわしい説明を聞かせていただいたあと、導入を決めました。

Q 123Reporter導入後、業務はどのように変わりましたか？

写真が所定の枠に収まった報告書が現場から直接会社のパソコンに届くので、事務スタッフが写真を貼り付ける手間がなくなりました。作業時間は大幅に短くなり、導入前と比較して30～40%短縮されています。

特に、定期清掃のような作業前・中・後の写真を撮るタイプの報告書は写真の点数が多くなるので、以前は作るのに30分はかかっていました。「123Reporter」導入後は10分程度で作れるようになりましたので、50%以上の時間短縮になっています。月末の報告書もスムーズに提出できるようになりました。

また、現場の責任者側も、わざわざ会社に戻ってデジカメの写真をパソコンに移す作業がなくなったので、作業後の残業が減りました。

「123Reporter」を導入したことで、事務スタッフはもちろん、現場責任者も楽になったので、導入のメリットは非常に大きいです。

### Q 時間短縮のほかにどんなメリットがありましたか？

以前は写真の抜け漏れがありましたが、「123Reporter」の導入でそういったミスもなくなりました。

また、店舗清掃の報告書は写真点数が多く、以前は清掃前の写真を見返すには逐一デジカメ内のデータをチェックしていましたが、「123Reporter」なら作業前の写真がアプリの入力画面に表示されているので、そういった手間がなくなりました。

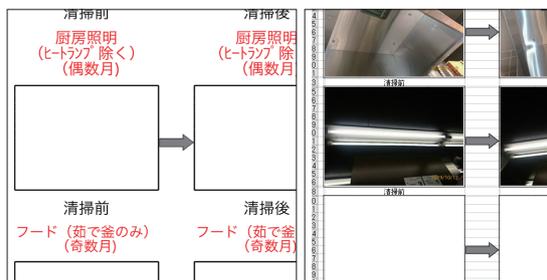
### Q 逆にアプリを使っていて何か困ったことはありましたか？

いまは解決していますが、グリストラップやエアコンなど、真上や真下にある写真を撮影しようとした際に、写真が横向きにならなかったため、そのときは戸惑いました。クリーンシステム科学研究所に質問して、アプリ側の問題ではなく端末側の問題だと教えていただき、対処方法も教えていただいた（右下記事参照）のでホッとしました。

### Q オリジナル書式の導入の経緯について教えてください

オーナー様や管理会社様側から内容の指定がありますので、それを反映するためにオリジナル書式の制作を依頼しました。店舗清掃の書式は作業月ごとに撮影箇所が決まっているので、以前はプリントした指示書を現場に持ち込んで確認していました。オリジナル書式導入後は、月ごとの撮影箇所がアプリの入力画面に表示されるので指示書が不要にな

## 123のここが便利！▶ 報告書作成時専用の表示設定が可能！



「123Reporter」は報告アプリの入力画面と仕上がりの表示を個別に設定可能。例えば入力画面で撮影月の指示を赤字で表示し（写真左）、現場ではその指示に従って撮影。仕上がり時は赤字の指示を反映しない状態にできる（写真右）。

り、とても便利になりました。

また、高齢の担当者でも使いやすくするために、入力画面内に表示されている文字を全体的に大きくしてもらっています。

### Q 通常の報告業務以外に使うことはありますか？

現場での調査が必要な見積もりを作るときに、標準書式を利用して現場調査の報告書を作成しています。

使う書式の種類は、現場で使い分けています。文字が主体の場合は写真3枚の書式を、写真が主体の場合は写真6枚の書式を使っています。

### Q アプリの運用を進めるのに、どのような苦労がありましたか？

従来のデジカメを使った報告書作成に慣れてしまっているスタッフは、これまでの業務方法を変えることに抵抗を持っており、説得するのにかなり苦労しました。スタッフも

「123Reporter」が便利だと頭では分かっているのですが、従来のデジカメを使ったやり方に慣れてしまっているため、それを変えるための一歩をなかなか踏み出せないんです。

### Q 石川さんはどのようにしてスタッフを説得されたんですか？

それはもう私の熱意です（笑）。とあるベテランスタッフには、何度もしつこく説得しました。実際にアプリを使ってもらえば便利だと納得してくれるので、そうなれば後の説明はスムーズでした。

### Q 最後に読者の方に一言をお願いします

「123Reporter」を導入することで、写真付き報告業務の作成時間を3割以上軽減できます。オリジナル書式も思った以上に安く、導入しやすいです。写真付き報告書を使うなら、自信を持っておすすめします。

## 123使用のポイント▶ 端末の向きと写真の向きについて



スマホのカメラを真下や真上など垂直方向に傾けたままだと、端末を横向きにしても傾きを検知するセンサーが正しく機能せず、写真が横向きにならない。その場合は、端末を一度水平方向に戻すことで横向きに調整可能。写真の向きはカメラのアイコン（左写真）の向きで確認でき、カメラのアイコンの上方向きが仕上がりの写真の上方向に対応する。